

I 池田の環境をこのようにしたい

1 環境基本計画キャッチフレーズ

前計画策定時に公募作品 142 点から選ばれたキャッチフレーズを本計画でも継承し、新たな目標とともに、達成をめざしていきます。

「今日の目標を 明日の当り前へ」

2 環境目標像

前計画では、環境問題市民委員（エコスタッフ）が「2030年の池田市をこのようなまちにしたい」、そのために「このようなことを大切にしていきたい」という提案を環境目標像としてまとめました。本計画においても、環境問題への取り組みの進展に配慮して分野を新たに設けましたが、環境目標像は継承していきます。

環境目標像は、「環境学習」「地球温暖化防止」「循環型都市の構築」「自然」「人にやさしいまちづくり」の5分野にわたっています。

(1) 環境学習

環境問題への取り組みは学ぶことから始まります。市民や事業者が自ら学び行動を変えていく、子どもたちが学校で環境学習に取り組むことなど、市民活動、学校教育、事業所活動での目標像です。

市民活動	みずから学び考え	人の輪を広げよう
学校教育	次代を担う	人材を育てよう
事業所活動	環境学習から	もうかる商いをつくろう

(2) 地球温暖化防止

省エネルギーの推進や新エネルギー(注)の導入を推進し、化石燃料やエネルギーの使用量を削減して、地球温暖化をもたらしている温室効果ガスの発生量を抑える低炭素社会をめざす目標像です。

化石エネルギー(注)の削減

自然エネルギー(注)を取り入れて 化石エネルギー使用量を半減するまちをめざそう

(3) 循環型都市の構築

資源循環型社会をめざすための、資源循環、水循環の目標像です。

資源循環	知って考え伝えよう “ごみの行方と池田の行方”
水循環	水を大切にし、水のめぐみに育まれるまち

(4) 自然

生き物たちと共に暮らせるまち、水や緑の豊かなまちをめざす、共生、五月山、まち、水辺の目標像です。

共生	さまざまな生き物たちが	身近に息づくまちに
五月山	豊かな自然を楽しむ	五月山
まち	季節の移ろいを	五感で感じる みどりのまち
水辺	取り戻そう	親しめる 水辺空間

(5) 人にやさしいまちづくり

だれもが安心して住めるまち、生き活きと暮らせるまちをめざす、あたたかさ、風土、活力、やさしさの目標像です。

あたたかさ	ユニバーサルデザイン (注) をとり入れたまち
風土	川と緑が育む文化と歴史のまち
活力	にぎわいが笑顔をつくるまち
やさしさ	健康で安心して子どもを生き育てられるまち

(注) 化石エネルギー：石炭や石油、天然ガスなどの地下から発掘される燃料からもたらされるエネルギーのことです。

(注) 自然エネルギー、新エネルギー：自然エネルギー(≒再生可能エネルギー)は主に水力発電や波力発電などの自然の力を利用したものをさし、新エネルギーは自然エネルギーの中でも太陽光発電や風力発電などを対象としています。

(注) ユニバーサルデザイン：性別、年齢、障がいの有無にかかわらずだれでも使えるように設計段階から配慮する考え方。